

令和4年度西成区運営方針自己評価 説明用資料

令和5年度 第1回西成特区構想部会

令和5年6月12日

西成区HP
「運営方針」



経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり
具体的取組2-1-1 西成区魅力発信事業

R3予算額	2,310千円	R4予算額	8,340千円
-------	---------	-------	---------

目標	目標値	結果
取り組んだ事業において実施したアンケートの全回答のうち、西成区の魅力と思うものを具体的に答えた割合	50%以上	82.9%

達成

取組実績

- 中小企業家同友会と連携し、西成しごと博物館を実施
- ものづくりマップの作成 6,500部
- 大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業の実施(1小中一貫校、2中学校、4小学校)
- SNS発信回数 15回
- 西成区PR大使による区民オススメ食べ物店紹介(ホームページ)
- 大阪市あきないグランプリ優秀店舗紹介(ホームページ)



西成しごと博物館



ものづくりマップ



大フィル出前コンサート



区民オススメ食べ物店

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-1-2 新今宮エリアブランド向上事業

R3予算額	10,152千円	R4予算額	10,152千円
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	結果
新今宮エリアのブランドイメージ向上に繋がる新今宮エリアの魅力を5つ以上紹介する既存の民間情報誌又はWebページ等の掲載件数	3件以上	0件※ 未達成
宿泊者、来街者へのアンケートにより「新今宮エリアの良いイメージ」を回答する割合	90%以上	88% 未達成

取組実績

- ※「留学生との連携拡大事業」（経済戦略局）との連携に伴い、事業の成果を「新今宮スタディツアーのモニターによるSNS発信」へ注力したことによる。（モニターによるSNS投稿実績 22回以上）
- ・ 自走化に向けて「新今宮スタディツアー」のモニターツアーを実施
 - ・ 地元ガイドを複数育成
 - ・ 新今宮スタディツアーのポータルサイト作成・掲出
 - ・ 特設サイト「新今宮ワンダーランド」の更新

課題と改善策

- ・ 新今宮エリアのイメージが向上し「新今宮エリアブランド」が確立するまで、長期的な期間を要するため、継続して新今宮エリアの魅力発信等に取り組む。
- ・ ブランド確立には行政ができる取組みに加え、民間事業者の強みを活かした取組みを推進する必要がある。
- ・ 今後は民間事業者が主体（自走化）となり、民間の強みを活かした取組みを継続していく。
- ・ 民間事業者が安定的に継続して取り組めるよう行政として支援を行うとともに、行政としての強みを活かした取組みを実施していく。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-3-1 西成区地域福祉計画推進事業

R3予算額

844千円

R4予算額

1,172千円

目標	目標値	結果
推進チーム会議や各分野別検討会議等を定期開催し、地域福祉計画の5つの重点項目を中心に、令和4年度に取り組むべき項目を設定し、取組項目の達成度A(順調である)	60%以上	89% 達成

取組実績

地域福祉推進チーム会議(開催回数2回)、地域福祉推進会議(開催回数2回)において、分野別検討会議等からの課題把握を行った。

また、区民フォーラムと見守りフォーラムを合同開催し、モデル2地域の地域活動者から「要援護者の地図上での見える化」や「ボッチャ体験等を通じた地域福祉活動参加の促進及び活動を通じた担い手の確保」等を発表いただき、参加者へ今後の活動に活かしていただけるように気づきを促した。

具体的取組2-3-2 地域における要援護者の 見守りネットワーク強化事業

R3予算額	30,289千円	R4予算額	29,946千円
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	結果
見守りフォーラムなどの参加者に対するアンケートで地域における見守り活動に関わっていくことが必要だと感じている割合	75%以上	89% 達成
認知症高齢者の発見協力者登録数が、前年度より増加	313件以上	316件 達成

取組実績

平成27年～令和4年度の実績(R5.3末現在)

- ①要援護者名簿(愛称「西成つながり名簿」)への登録同意者件数
7,571件(対象者10,979件)
- ②見守り相談室への相談累計件数13,754件(累計)
- ③認知症高齢者の行方不明時に、連絡を受け、見守り相談室や警察
とともに、発見に協力してくれる団体や事業者の登録件数 316件

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-3-3 西成版サービスハブ構築・運営事業

R3予算額

25,152千円

R4予算額

25,781千円

目標	目標値	結果
就労に向けた準備支援件数	55件	104件

達成

取組実績

【日常生活自立に関する支援】

- ・規則正しい生活に向けた起床勧奨、居場所の提供等の実施
- ・利用者が有する依存症等の治療に必要な支援、通院同行等を実施

【社会生活自立に関する支援】

- ・対人コミュニケーション育成に向けた訓練等の実施（地域活動、イベント等へのボランティア参加）

【就労自立に関する支援】

- ・一般就労に向けた準備として、中間就労先での就労経験の積上げ実施
- ・利用者の稼働能力に応じた中間就労先の開拓

※中間就労とは、就労に向けた「就労訓練」のことを指します。



経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 自己評価のまとめ

◇地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

区民や区のイベント参加者が「西成区の地域資源を活かした取組みがにぎわい創出やまちの活性化につながっている」と感じる割合は、新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、やや高めの割合を維持している。引き続き、西成区のイメージが向上する事業を実施し情報発信することで区内外から人を呼び込み、まちを活性化させていく取組みが必要である。

◇地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

・多職種が集う定期的な事例検討会を開催することで、精神疾患のある方を支援する専門員のスキル向上につなげた。また、関係者が広く集まる総合的な支援調整の場(つながる場)を開催することで、援助方針の共有や役割分担を行い個別ケースの支援が進んだ。

・「西成版サービスハブ構築・運営事業」「単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業」の2事業は、ともに、支援の過程を通じて、生活保護受給者を就労や社会貢献などにつなげ、社会への再包摂を果たしていくことを目的としている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もなく、当初目標を達成することが出来た。今後も利用者の社会への再参加が確実にいえるよう、中間的就労等(支援の出口)の創出に取り組むとともに、2事業の発展的統合など次のステップに向けた検討を進める。

経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-1-1 不法投棄対策

R3予算額	104,344千円	R4予算額	102,627千円
-------	-----------	-------	-----------

目標	目標値	結果
令和4年度の※不法投棄ごみ量(収集量)を前年度より減少させる	737t未満	832t 未達成

※不法投棄ごみ ⇒ 定められた曜日・場所以外に捨てられたごみ

取組実績

- ・不法投棄ごみは即時回収し、まちに不法投棄ごみが放置されない状態を維持している。
- ・不法投棄防止を目的とした巡回(毎日14時～翌6時)
- ・公園への不法投棄を防止するため、啓発拠点を設置し、家庭ごみの排出ルールを啓発(364日)
- ・生活保護世帯へのごみの出し方チラシの送付 約22,000件

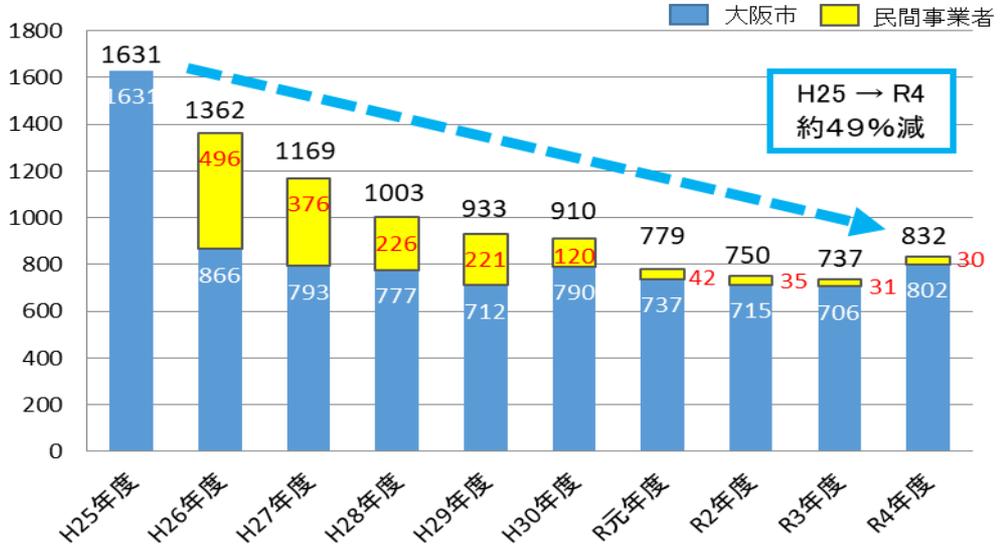
課題と改善策

- ・もとあいりん総合センターを中心に、廃家財、廃家電の不法投棄が増えている。
- ・従来からの有効といえる取り組みを継続しつつ、不法投棄が頻出する箇所を調査、特定し、その箇所に警告を掲出し頻度を高めて巡回するなど、重点的な対策を実施することで、不法投棄の総量を抑制する。

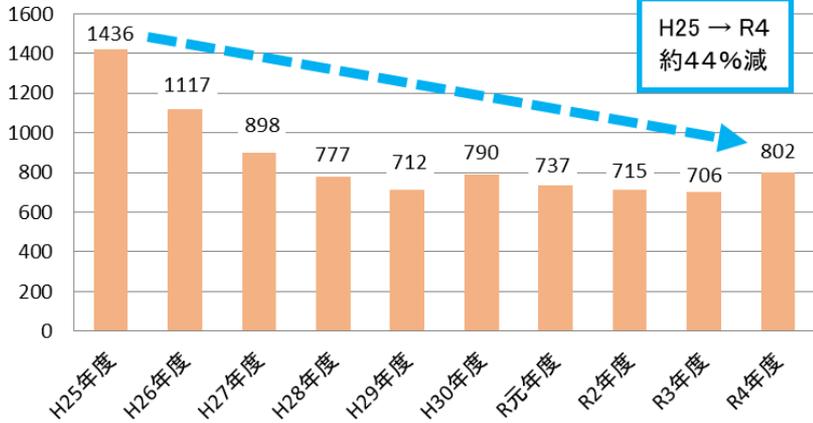
【一般廃棄物】 不法投棄 ごみ収集量

令和4年度
832トン
H25年度比:49%減
R3年度比:13%増

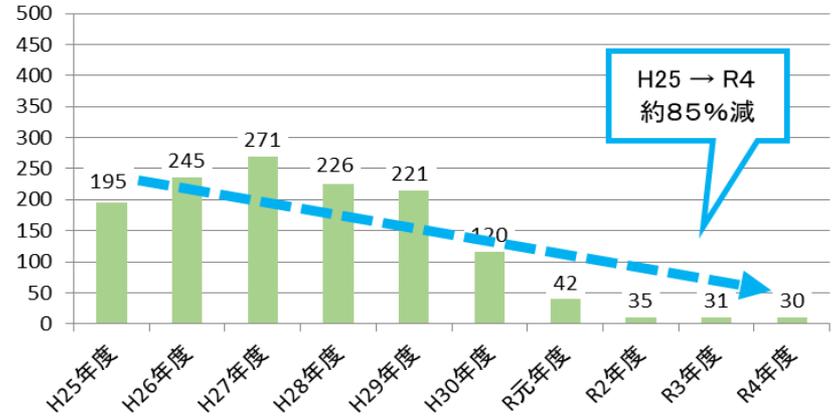
年度別 一般廃棄物収集量推移(単位:トン)



街路



公園



経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-1-2 迷惑駐輪対策

R3予算額	4-1-1に含む	R4予算額	4-1-1に含む
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	結果
あいりん地域内の迷惑駐輪台数を前年度より減少	2,200台以下	2,123台

達成

取組実績

- ・地域内自転車置場(約1,120台)の管理運営
- ・迷惑駐輪課題箇所における放置自転車の整理事業(364日)
- ・放置自転車への啓発エフ取り付け 約31,000枚
- ・長期放置自転車の撤去(1,343台)

自転車置場の整備状況

南海新今宮駅南高架下自転車置場
完成年度:平成27年度
収容台数:約300台



南海新今宮駅南高架下自転車置場

住吉神社前通線自転車置場
完成年度:平成29年度～30年度
収容台数:約270台



住吉神社前通線自転車置場

尼崎平野線南側自転車置場
完成年度:平成28年度
収容台数:約30台

阪堺線西側自転車置場
完成年度:平成28年度
収容台数:約300台

三角公園南側自転車置場
完成年度:平成26年度
収容台数:約60台



経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-2-1 結核患者の早期発見・早期治療

R3予算額	20,873千円	R4予算額	21,076千円
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	結果
あいりん地域の結核患者のうち、西成区実施の健診によって発見された方の割合	25%以上	23.1%

未達成

取組実績

- ・西成区保健福祉センター分館で、毎日健診を実施
- ・あいりん地域内健診を40回実施
- ・あいりん地域内のアパートに受診勧奨を延べ99ヶ所実施（内、個別ビラ配布20カ所）

課題と改善策

- ・健診の受診者数については昨年度と大きな変化はないが、コロナ前の令和元年度と比べると約600人減少しており、受診者の拡大が課題である。
- ・健診による早期発見・早期治療は感染拡大予防に有効な手段であるため、あいりん地域内における受診勧奨について関係機関と連携して強化するとともに、あいりん地域内健診を昨年度より実施計画を増やして拡充する。

経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-2-2 結核患者の支援の充実

R3予算額	33,804千円	R4予算額	33,747千円
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	結果
新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合	3%以下	2.9%

達成

取組実績

- ・あいりんDOTS(肺結核患者に対する服薬支援)開始数
 拠点型15名、訪問型4名
- ・「あいりん結核患者療養支援事業」居所確保
 地域内個室8名利用



あいりんDOTS 拠点型の様子

経営課題4 あいりん地域対策

自己評価のまとめ

【あいりん地域環境対策】

- もとあいりん総合センターとその周辺で不法投棄の増加傾向がみられるが、引き続き地域の路上や公園では不法投棄ごみが散逸していない状態を維持できている。路上駐輪台数についても取り組みにより減少傾向を維持できている。

【結核対策】

- 罹患率を減少させるには、区内で実施している結核健診等において、一人でも多くの方に受診していただくことが患者の早期発見につながると考える。また、発見した全ての結核患者に対して最低でも6カ月かかる治療を確実に終了させることが重要であると考えます。